

単元名: Let's Write②

「記事への意見—投稿文—」

(全1時間扱い中 第1時)

授業日時 2021年7月9日(金) 第4校時

授業学級 3年A組

授業会場 3年A組教室

授業者

指導者

## (1) 主眼(授業の手立て&amp;ねらい)

「中学生は学校にスマートフォンを持ってくるか否か」というトピックに対して意見文を書く場面で、教師や友達の意見文を読み意見文の書き方に気付いたり、友達のアイデアを参考にしながら、もう一度書き直したりすることを通して、説得力があり読み手が分かりやすい文章を書けるようになる。

## (2) 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・【教材】	時間
導入	1. 教師のアメリカ人の友人(タイラー)から届いた調査依頼のメッセージを読む。	「タイラーはアメリカ人の大学生なんだな。」 「リクエストって何だろう」 「中学生のスマホの使い方について調べているんだ。」 「中学生はスマホを学校に持ってくるべきかな…?」	「Last week end, I send a message to my friend. He is from the US and also a university students. Then, he made me a request of research.」 「I'll show you conversation with him.」 【スライド】 【ワークシート】 「This is message from Tyler.」	7
	2. 調査依頼のメッセージの内容を理解する。	「The request is "Could you write your opinion about my question?"」 「The question is "Should junior high school students bring their smartphones to school?"」 「He wants many reason.」	「What is his request?» 「What is his question?»	
Today's Goal: タイラーに向けて、「中学生は学校にスマートフォンを持ってくるべきか否か」という質問に対して意見文を書こう!				
展開	3. 「中学生は学校にスマートフォンを持ってくるべきか否か」というトピックについて、賛成か反対か、また、その理由をペアで話す。	「I think students should bring their smartphones to school. Because, we can do many things.」 「I think students should not bring their smartphones to school. Because, students will play games while taking classes.」	「Do you think should junior high school students bring their smartphones to school?» 「Why do you think so?» ※数名の生徒を指名し、意見を聞く。 「Let's share your idea with your partner.」 ※机間指導で、なかなか理由が言えない生徒には、まずは賛成か反対か生徒の意見を聞き、その上で、どうしてそう思うのかを尋ね、でてきたキーワードや意見を正しい文にして言い直す。	5
	4. 教師の意見を確認する。	「先生はスマホを持ってくるべきだと思ってるんだな。」 「たくさん理由があったら first や second を使えばいいんだな。」	「I was also asked the question. This is my opinion.」 「If you have two or more reasons, you can use "first", "second".」	2
	5. 「中学生はスマートフォ	「先生は、理由を言う時に first とか second を使って理由を説明してた	「Let's write your opinion to send your opinion to him.」	10

	<p>ンを持ってくるべきか、否か」というトピックに対して、意見文を書く。</p> <p>6. 友達の意見や友達の意見文の書き方を知り、自分が書いた意見文を見直す。</p> <p>7. 意見文を書き直す。</p>	<p>けど、真似してみようかな。」</p> <p>「最初に自分の意見を言った方が分かりやすそうだよね。」</p> <p>「スマホを学校に持っていったら、授業中にもっといろいろなことを調べられるから学校にもっていきたい。」</p> <p>「〇〇さんの理由面白いな。」</p> <p>「自分の経験や例を伝えると確かに分かりやすいな。」</p> <p>「自分の意見文では、最初に主張を言っていないな。」</p> <p>「〇〇さんみたいに、firstやsecondを使って、理由を述べてみよう。」</p> <p>「〇〇さんのこの表現いいな。自分も使ってみよう。」</p> <p>「introduction, body, conclusionという構成で書き直してみよう。」</p> <p>「最初に自分の主張を書くことにしよう。」</p>	<p>※机間指導で、表現に悩んでいる生徒に対して、“What is your idea?”などと聞いて、書きたいことを聞きだし、“What is 〇〇 in English?”と聞いて、キーワードを辞書で調べるように促したり、“How about 〇〇?”などと教師の考えを提案して支援する。また、友達の書き方を紹介する。【辞書】</p> <p>「Any one, Can you share your idea?」</p> <p>※誰もいなかったら、机間指導でうまくかけていた生徒を数名指名。</p> <p>「〇〇さん used “For example”. It is easy to image.」</p> <p>「〇〇さん wrote his experience. It is easy to understand.」</p> <p>※introduction, body, conclusionという構成で書けていた生徒がいなかった場合、教師が書いた意見文を示し、ポイントをまとめる。</p> <p>「Let’ s write your opinion again using these points.」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【本時の評価（ワークシート）】</p> <p>first, secondを使って意見を整理して書けているか、自分の主張を明確にして書けているか、自分の経験や例を用いて書けているか。</p> </div>	<p>10</p> <p>10</p>
終末	<p>8. 本時の振り返りを行う。</p>		<p>「I’ ll send just your opinions to him. I do not send your name and your information.」</p> <p>「Thankyou.」</p> <p>※ワークシートを回収する。</p>	<p>1</p>